

ある。

そのために、新計画では、前計画でにぎわいが創出された甲府駅周辺とオリオン周辺部に隣接し、その中間に位置する県庁エリアの回遊性をさらに向上させるため、甲府駅南口周辺整備と関連したオープン県庁敷地整備事業により敷地を公園化し、歩行者と車両を分離した「快適な歩行空間」「ポイントを結ぶルート」の整備とともに県庁耐震化事業による「安心して暮らせる都市基盤」の整備を行い、災害に強い安全な県庁に整備する。

(3) フォローアップの考え方

毎年度、事業の進捗状況の調査を行い、状況に応じて改善措置を講じる。また、基本計画の認定にあわせて設置する中心市街地まちづくり会議において、定期的に事業の検証を行う他、数値目標の達成状況等を分析し、目標達成に向けた効果的な事業実施を図るものとする。

[2] 具体的な事業の内容

(1) 法に定める特別の措置に関する事業

該当なし

(2) ①認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

事業名、内容及び実施時期	実施主体	目標達成のための位置付け及び必要性	支援措置の内容及び実施時期	その他の事項
○事業名 県庁舎耐震化等整備事業（甲府県庁地区） ○内容 敷地内の歩道の整備と、車両動線との分離、敷地内緑化、展示施設整備等 ○実施時期 H26～H27	山梨県	県庁舎耐震化等整備事業のうち、県庁敷地のオープン化に伴い、敷地内の歩道の整備と、車両動線との分離による安全確保を行い、敷地内の緑化や多目的広場の整備を進める。 また、県指定有形文化財である別館については耐震改修を行い、併せて近代本県発展の礎を築いた先人の功績を情報発信する展示施設等を整備し、県民や観光客等に積極的に公開活用していく。 このことにより、甲府駅南口から小売店舗が集積する岡島百貨店周辺への導線を創出し、あわせて、緑化等による空間整備により快適な空間の創出されるほか、展示施設の設置により、歴史、文化、芸術に触れる機会が増える。 これは、賑わいを創出し、歴史、文化、芸術が薫る中心市街地を感じ、まちとつながる、人とつながることを目標とする中心市街地の活性化に必要な事業である。	●支援措置 社会資本整備総合交付金（暮らし・にぎわい再生事業） ●実施時期 H26～H27	

(2)②認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業
該当なし

(3)中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業
該当なし

(4)国の支援がないその他の事業
該当なし